

環境への取組みの“応援団”

生き生きISO 14001

本音で取り組む環境活動

国府保周 著

新書判・184頁／定価1,365円（本体1,300円）

“いかに意義を感じ、楽しみと充実感を見出せるか”という視点に立ち、ISO 14001を身近に感じ、環境への取組みの第一歩を踏み出すために、必携の書。ビジネスとの両立やビジネスへの活用を意識したうえで、推進役や現場スタッフとしての心構えなどを、平易な文章とイラストで説明しており、新入社員研修にもご活用いただけます。（詳細な規格解釈書ではありません）



国府保周 著

日本規格協会

★すべての項目にイラストおよび図表を使用★



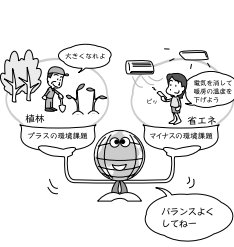
第1章 地球環境に対して、いま私たちができること

- 1.1 私たちのまわりにある環境問題
- 1.2 環境問題の地球規模の広がり
- 1.3 “環境”とは
- 1.4 地球という顧客の“顧客満足”
- 1.5 組織を取り巻くものの変化
- 1.6 いま私たちにできること
- 1.7 環境対応の成功方程式
- 1.8 マネジメントをシステムとして捉える
- 1.9 ISO 14001導入のメリット
- 1.10 ISO 14001の広まりと貢献



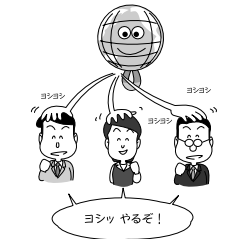
第5章 ISO 14001の中で自分が行うべきこと

- 5.1 自分がすべき取組みテーマ
- 5.2 製造・施工・サービス提供時にすべきこと
- 5.3 有害物・廃棄物の扱い
- 5.4 環境配慮型製品の開発
- 5.5 製造方法の指定と施設・装置の管理
- 5.6 普段から続けること
- 5.7 緊急時に自分がすべきこと
- 5.8 すべきことをしなかったら
- 5.9 環境報告書を読んでみる
- 5.10 工夫の秘訣



第2章 何をテーマとして取り組むか？

- 2.1 身のまわりの環境問題を見てみると
- 2.2 本業で勝負！
- 2.3 こんなテーマもある①
- 2.4 こんなテーマもある②
- 2.5 こんなテーマもある③
- 2.6 テーマと達成策の設定
- 2.7 マイナスの環境課題とプラスの環境課題
- 2.8 各テーマに取り組む意味を知る
- 2.9 決めた根拠の伝え方
- 2.10 テーマ設定プロセスの評価



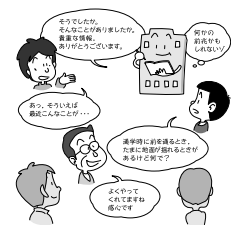
第6章 自分が推進役になったら

- 6.1 推進役とは
- 6.2 規格の意図とものごとの本質を掌握
- 6.3 聞き上手なまとめ役
- 6.4 原点は現場
- 6.5 3年後をにらんでシステムを仕込む
- 6.6 その気になってもらう
- 6.7 出来事を伝える体制の確立
- 6.8 審査をどう受けるか
- 6.9 コンサルタントの使い方
- 6.10 統合マネジメントシステム



第3章 ISO 14001規格のエッセンス

- 3.1 ISO 14001規格の表題と章立て
- 3.2 '0 序文'
- 3.3 '1 適用範囲'、'3定義' ほか
- 3.4 '4.2 環境方針'
- 3.5 '4.3 計画'
- 3.6 '4.4 実施及び運用' ①
- 3.7 '4.4 実施及び運用' ②
- 3.8 '4.5 点検及び是正処置'
- 3.9 '4.6 経営層による見直し'
- 3.10 ISO 14001を取り巻く規格群



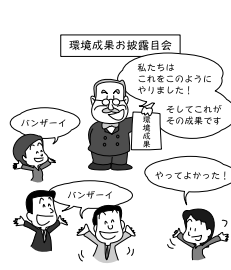
第7章 まわりの人たちは私たちをどう見ている？

- 7.1 環境に関して組織を取り巻くもの
- 7.2 顧客の環境協力要請
- 7.3 消費者からの環境要望
- 7.4 購買先への環境要望
- 7.5 行政からの環境要望
- 7.6 地域住民からの環境要望
- 7.7 ボランティア活動
- 7.8 製品ライフサイクルからの環境考慮
- 7.9 情報公開
- 7.10 組織内の目は厳しい



第4章 組織としての取組み（運用管理の秘訣）

- 4.1 経営者の強い意志
- 4.2 マネジメントシステムの視点
- 4.3 経営者からの“説明”の効用
- 4.4 取組みテーマをビジネスに結びつける
- 4.5 推進チームの選定
- 4.6 意気込みの推移
- 4.7 内部監査の極意
- 4.8 未然に手を打つ
- 4.9 3年先を見越したテーマ設定
- 4.10 ISO 14001導入の副次的な効果



第8章 ISO 14001と認証の境界

- 8.1 再度なぜ“マネジメントシステム”なのか
- 8.2 第三者認証のメリット
- 8.3 認証は、本当に必要か
- 8.4 ISOのためのISO
- 8.5 環境成果
- 8.6 認証取得の成果をお金に換算してみる
- 8.7 環境卓越はメシのタネ
- 8.8 自己宣言
- 8.9 組織の発展を環境活動が支える
- 8.10 環境の基本は各人のハート